

山梨県リニア活用基本構想

- リニアで描く山梨の未来 -



第5章 リニアを活用した県土づくり

1. リニアを活用した県土づくりのあり方

(山梨県の都市づくり)

本県の都市づくりについては、人口減少・超高齢社会の到来を踏まえ、都市経営コスト¹の最適化、公共公益施設や大規模集客施設²の適正立地、地球環境問題など、様々な課題への対応が求められることから、都市機能が集約した都市づくりを目指し、拡散型の都市構造から都市機能集約型の都市構造³への転換を図ることを基本理念としています。

この都市づくりの基本理念を踏まえた上で、リニアを生かすための県土づくりを進めていきます。

(リニア新駅とその周辺のまちづくり)

リニア開業の効果を県全体で広く享受するために、リニア新駅とその周辺地域では交通結節機能²³⁾を中心とした整備を行っていきます。

交通結節機能²³⁾の整備には、リニア利用者が円滑に他の交通機関に乗り換えが行えるような利便性を確保することはもとより、リニア新駅の駅勢圏²⁴⁾が県外の一部にまで及ぶと考えられることから、高速道路などの広域交通基盤との連携にも配慮していきます。

本県がリニア新駅の設置を要請している甲府市大津町周辺地域は、現在、市街化を抑制する区域である市街化調整区域²⁵⁾に指定されています。

一方で、リニア開業が都市構造や社会経済活動に与える影響が小さくないことから、既存の産業集積や都市機能との調和を図るとともに、この地域の目指すべき都市の姿を描いた上で、今後の乱開発の防止にも配慮しながら、必要に応じた土地利用の見直しやまちづくりの取り組みを進めていく必要があります。

(県内各地域のまちづくり)

新たな産業の創出や二地域居住⁶⁾の推進、インバウンド観光¹⁶⁾の進展など、リニア開業によるプラスの効果を積極的に取り入れ、住む人や働く人、訪れる人々が魅力を感じられる場となるようなまちづくりの取り組みが必要です。

豊かな自然景観をはじめ、富士山・富士五湖に代表される観光資源、歴史・文化、特色ある地域産業など、各地域が有する特性を生かしながら、リニアを活用した特色ある地域づくりを進めていきます。

1 都市経営コスト：インフラ整備や維持管理コストで、都市そのものの運営に要するコスト

2 大規模集客施設：集客施設（劇場、映画館、演芸場若しくは観覧場又は店舗、飲食店、展示場、遊技場、勝馬投票券発売所、場外車券売場その他これらに類する用に供される建築物）であって、その用途に供する部分の床面積が1万㎡を超えるもの

3 都市機能集約型の都市構造：都市機能（行政、業務、居住、文化、商業等の機能を持った人々の都市生活を支える各種の施設）の分散を抑制し、中心市街地や拠点に集約した都市構造

2. リニア新駅及び周辺の整備

2-1. リニア新駅の整備

リニア新駅は、本県のほぼ中央に位置し、本県と首都圏や中京圏、さらには関西圏を短時間で結ぶ、本県の新たな玄関口となります。

リニア新駅は、富士山や南アルプス連峰をはじめとする盆地を取り囲むように広がる山々などの自然景観や、もも、ぶどうなどの果樹園が織りなす農村景観を一望できる良好な立地条件を生かし、国内外から訪れる人々に、山梨の素晴らしさを発信するとともに、豊かな自然環境や景観と調和し、誰もが利用したくなる魅力的な施設として整備します。

リニア新駅に整備する施設及び機能

(JR 東海が整備する新駅施設)

リニア新駅のプラットホームや入出場口、それを結ぶエレベータ(エスカレータ)さらにはトイレなどの駅として必要な施設は、JR 東海が整備します。

(地域振興につながる施設)

山梨の観光・物産情報などを駅利用者提供する情報発信機能や商業機能など、地域振興につながる施設は、地元が負担して整備することとなります。

地域振興につながる施設としては、国内外から訪れる人々が、山梨の素晴らしさを再発見するとともに、山梨のイメージアップにつながるよう、本県の産業、文化、観光、特産品をはじめ、各地へのアクセスなど様々な県内情報を提供する観光案内・インフォメーション施設のほか、本県の特産品を展示、販売する施設などの整備を検討していきます。

また、駅利用者のためのレストラン、喫茶店、コンビニエンスストア・売店などの商業施設、ATM などの金融サービス施設、待ち時間を快適に過ごすための施設などについて、民間企業などの参入意向なども踏まえ、設置を検討していきます。

(本県の独創的な施設)

駅利用者はもとより、広く県民にとって魅力を感じられる施設として、ここでしか味わうことのできない、富士山・南アルプス・八ヶ岳などの甲府盆地を取り囲むように広がる山々の眺望を楽しむことができる展望施設の整備を検討します。

この展望施設は、本県の豊かな自然景観を生かした独創的な施設として、新たなランドマーク²⁶⁾となることが期待されます。

2-2.リニア新駅周辺（リニア新駅から概ね200m～300mの範囲）の整備

リニア新駅周辺地域は、甲府駅周辺などの拠点等と調和を図りつつ、リニア開業の効果を県全体で広く享受できるよう、交通結節機能²³⁾を中心とした整備を行うことを基本とし、既存都市機能に影響を及ぼすような大型商業施設などの立地は抑制します。

リニア新駅周辺に整備する施設及び機能

（交通結節機能²³⁾の整備）

リニア新駅利用者が他の交通機関に短時間で乗り換えられ、目的地に円滑に移動できるよう、バスターミナルのほか、駅前広場、送迎用・長期利用者用の駐車場、休憩・待合所など、交通結節機能²³⁾を高める施設の整備を検討していきます。

また、様々な観光目的を持つリニア新駅利用者に対応するため、レンタカーのほか、カーシェアリング²⁷⁾やライドシェアリング²⁸⁾などの新しい交通サービスについても、参入企業の意向などを踏まえた上で、導入を検討していきます。

（アメニティ空間²⁹⁾の整備）

山梨の自然環境とマッチし、周囲の景観を楽しめる場として、本県に訪れた人々が気軽に憩う空間とするとともに、県内の人々も自由に交流できる場として、公園などの開放的で快適な空間の整備を検討していきます。

アメニティ空間²⁹⁾の整備に際しては、ももやぶどうなどの本県の特産果樹を配置するなど、来県者が、より山梨らしさを感じられるよう、景観に配慮します。

（本県の長期的発展を先導する戦略的な整備）

リニア新駅周辺については、高度な交通結節機能²³⁾に加え、将来の本県の発展を先導するエリアとして大きな可能性を秘めていることから、経済基盤の拡充や雇用の拡大、県民生活の向上につながるものとなるよう、長期的な視点に立って整備のあり方を検討していく必要があります。

今後の社会経済情勢も踏まえながら、リニアがもたらす圧倒的な時間短縮効果とともに、豊富な自然エネルギー資源や高度な技術を有するものづくり産業などの本県の優位性を十分に生かし、例えば、先端産業の研究施設が立地するための基盤整備など、将来の本県の発展を先導する地域としての整備についても検討を進めていきます。

リニア新駅周辺は、市街化調整区域²⁶⁾に指定され、厳しい土地利用規制が図られているため、商業施設や住宅建築のための宅地開発は制限されていますが、今後、開発の動きが活発になることも予想されることから、乱開発や無秩序な土地利用が行われないう、投機的な土地取引³⁰⁾に対しては国土利用計画法に基づく適切な規制ができるよう必要な調査を引き続き行っていきます。

また、当該地域は、地形的に内水による浸水が発生しやすい地域ですが、現状では厳しい土地利用規制により、保水・遊水機能³¹⁾がある程度確保され、浸水による被害が軽減されています。今後、都市的土地利用を図っていく場合には、浸水被害を軽減するための流出抑制対策³²⁾を併せて検討していきます。

今後、リニア新駅及び周辺の整備において、施設内容や規模、費用負担などについては、県や市町村、経済団体などの関係者において協議していきます。

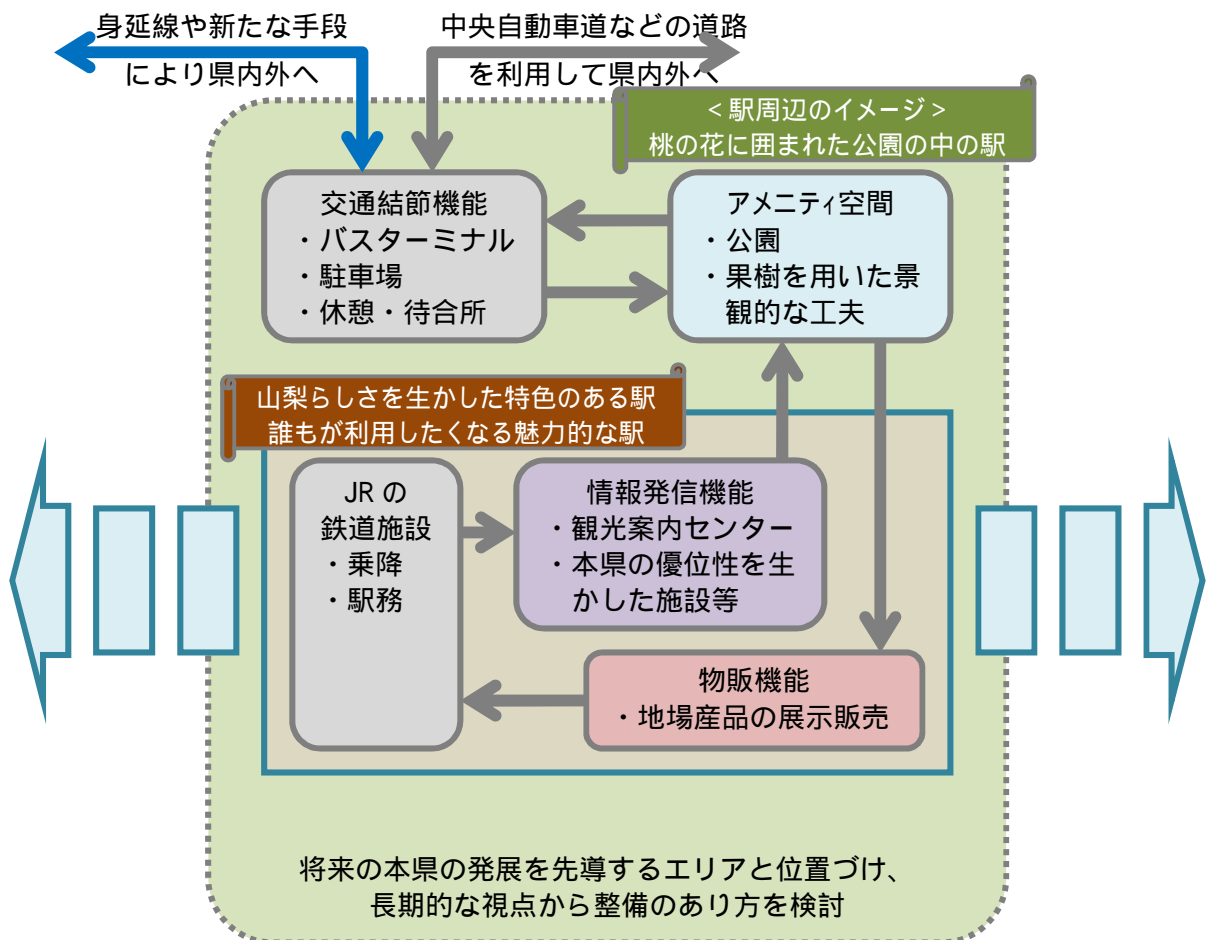
また、リニア新駅に整備する施設の配置や構造とともに、駅の外観や意匠などについても、駅の設置者である JR 東海と協議していきます。

表5 - 1 リニア新駅及び周辺に整備する機能

駅構内又は駅前	【観光機能】 観光案内所(地域情報提供施設)、インフォメーション施設(アクセス情報、県内情報等)、 地場産品展示・販売施設 (民間)レンタカー(カーシェアリング含む)・旅行代理店等の観光関連事業所、土産物店 等
	【商業施設】 (民間)レストラン、喫茶店、コンビニ、書店、ファーストフード、ATM、郵便局等
	【交流機能】 会議室等
駅周辺	【交通結節機能】 駅前広場、駐車場、バスターミナル(路線バス、シャトルバス、観光バス)、休憩・待合施設
	【アメニティ空間】 公園、展望施設(駅施設と一体)

出典：リニア活用策検討部会資料

図5 - 2 リニア新駅と周辺のイメージ



出典：山梨県リニア交通局作成

3. 県内各地を結ぶアクセス強化

リニア開業の効果を全県に波及させるため、リニア新駅と県内各地とができる限り短時間で結ばれるよう、交通基盤を整備するとともに、リニアで本県を訪れる人々が目的地まで円滑で快適に移動できるような二次交通¹の整備に取り組んでいきます。

リニア新駅と県内各地とを結ぶアクセスの強化にあたっては、既存道路の有効活用を図るとともに、現行の道路整備方針や今後の財政状況もふまえながら、効率的で計画的な道路整備に努めます。

また、環境に配慮した都市づくり・まちづくりの重要性が一層高まる中、環境にやさしい公共交通を充実していくことが必要となることから、将来を見据え、JR中央本線、身延線などの在来線鉄道との連携やバス交通の活用を強化していきます。

リニア新駅と甲府駅周辺とのアクセス強化

甲府駅周辺は、都市計画区域マスタープランにおいて広域拠点として位置づけられており、公共交通のハブ的機能³³をはじめ、様々な都市機能を有しています。

一方、リニア新駅周辺は、駅利用客をはじめとする様々な人の動きが生まれ、交通結節機能²³を中心とする新たな拠点となることが見込まれる地域です。

公共交通のハブ的機能³³を有し、様々な都市機能が集積している甲府駅周辺と新たな交通結節機能²³を持つリニア新駅周辺を連携させ、相乗効果を発揮するよう、両地域を結ぶ交通基盤を強化していきます。

(1) 道路交通によるアクセス強化

リニア新駅と甲府駅を結ぶ国道358号(平和通り)を有効活用し、バスなどを含めた自動車交通の円滑な運行を確保します。

- 国道358号(平和通り)の交差点改良
- リニア新駅～国道358号(平和通り)の整備推進 等

(2) 新たな交通手段の整備

軌道やバスなどを利用した新たな交通手段及びルートについて、リニア新駅と甲府駅間との交通需要、建設費や採算性、定時性³⁴の確保、さらにはリニア開業までの事業実施の確実性などの観点から行った比較検討を踏まえ、リニア新駅から荒川堤防を専用道として活用し、飯豊橋から平和通りを經由して甲府駅とを結ぶBRTの整備を検討します。

今後、散策や通学などの河川利用に配慮しながら、安全で円滑な道路交通の確保についてはPTPS²の導入も含めて、市町村や関係者と十分な協議を行っていきます。あわせて、輸送人員に見合った車両編成や環境負荷の小さい車両³⁵の導入などの運行方法についても、バス事業者などの関係者と十分な検討・協議を進めていきます。

1 二次交通：複数の交通機関等を使用する場合の、2種類目の交通機関のこと。主には、鉄道駅から路線バスや自転車などを使って、学校や観光地などへ赴く交通手段
2 PTPS：大量公共交通機関であるバス等の通行を円滑に行わせ、バス等の定時運行を確保するとともに利用を促進して、道路の利用効率を向上させる公共車両優先システムのこと

また両駅間の交通手段については、さらなる技術革新の進展、企業進出や地域振興などリニア開業に伴う都市集積の高まり³⁷⁾など、今後の社会経済情勢の変化や交通需要の動向などを的確に把握する中で、ハイブリッドLRT(架線とバッテリーを併用したLRT・新型路面電車)などの導入の可能性についても、引き続き検討していきます。

BRT	 <p>Photo by Dr. Takeuchi</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bus Rapid Transit の略で、バス専用レーンや連節バス等の導入などにより、定時性³⁴⁾・速達性³⁶⁾の確保と利便性・快適性の向上を図るバスシステム ・ 定員は60～130人(連節バス)程度 ・ 車両編成については、輸送需要に合わせて、柔軟に対応
LRT	 <p>Photo by Dr. Takeuchi</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Light Rail Transit の略で次世代型路面電車システムともいわれ、専用軌道に加速性や快適性などを高めた軽量の車両を走行させるシステム ・ 1編成当り80～250人程度 ・ 架線とバッテリーを併用したハイブリッドタイプの車両を利用したシステムも開発中

出典：山梨県リニア交通局作成

リニア新駅と県内各地とのアクセス強化

国内外からリニアを利用して本県を訪れる人々が目的地まで円滑で快適に、しかも短時間で移動できるとともに、県内各地からのリニアの利用を容易にするなど、利便性の高い交通基盤の整備を行います。

(1) JR身延線へのアクセス強化

JR身延線駅の駅前広場やバス乗降場を整備するなど、身延線とリニア新駅を結ぶバス交通の運行を促進します。

- 特急停車駅であるJR身延線東花輪駅の駅前広場及びアクセスとなる周辺市道(中央市)の整備促進 等

(2) 道路交通によるアクセス強化

リニア新駅と県内各地との円滑な移動を確保するとともに、できる限りの時間短縮に向け、道路整備を推進します。特に、都心と1時間程度で結べるよう、リニア新駅と県内各地とを概ね30分で連絡可能なアクセス30分圏域の拡大を目指します。

道路整備にあたっては、まず、リニア新駅と県内各地とを短時間で結ぶための高規格道路及びSIC等の整備を積極的に進めます。

また、リニア新駅や高速道路ICと県内各地を結ぶ幹線道路³⁸⁾の整備、リニア新駅と近隣各地域とを結ぶ一般道路等の整備、さらには、リニア新駅周辺地域の交通集中による混雑を緩和するための道路整備などを積極的に進めます。

アクセス30分圏域：交通混雑のない時間帯に周囲の交通の流れに合わせて走行した場合に、概ね30分程度で到達可能な移動圏域のこと。

1) 高規格道路の整備

県内を東西に走る中央自動車道西宮線をはじめ、富士北麓地域と連絡する中央自動車道富士吉田線、また、県南部との高速交通基盤として2017年(平成29年)度中の完成を目指して建設が進められている中部横断自動車道 増穂 IC以南など、県内各地域を結ぶ高速道路ネットワークの整備促進を図ります。

- 中部横断自動車道 増穂 IC以南の整備促進、長坂以北の整備促進
- 新山梨環状道路 東部区間の整備推進、北部区間の整備促進
- 西関東連絡道路 山梨市万力～岩手間の整備推進

2) SIC等の整備による利便性の向上

中央自動車道・中部横断自動車道にSIC等を整備し、高規格道路が持つ高速性の有効活用を図ります。

<事業中>

- 中央自動車道 (仮称)富士吉田北SICの整備推進
- " (仮称)笛吹(八代町)SICの整備推進
- 中部横断自動車道 (仮称)身延山ICの整備推進

<計画中>

- 中央自動車道 (仮称)談合坂SICの整備促進
- " (仮称)甲府中央SIC(リニア新駅付近)の整備推進
- 中部横断自動車道 (仮称)中富IC(身延町下田原付近)の整備推進

3) 高規格道路IC等と連絡し、県内各地とを結ぶ幹線道路の整備

県内各地と高規格道路IC、SICとを結ぶ幹線道路³⁸⁾を整備し、高速性のあるアクセスを確保します。

(峡北地域方面)

- 国道141号 北杜市内の整備推進
- 県道茅野北杜葺崎線の整備推進 等

(峡東地域方面)

- 国道411号 甲州市～丹波山村間の整備推進
- 西関東連絡道路の岩手橋付近～甲州市間の連絡強化
- 県道笛吹市川三郷線 笛吹市八代町内の整備推進 等

(峡南地域方面)

- 県道市川三郷身延線の整備推進
- 県道富士川身延線の整備推進
- 県道南アルプス公園線の整備推進 等

(富士北麓地域方面)

- 国道137号 吉田河口湖バイパスの整備推進
- 国道137号 新たな御坂トンネルの構想推進
- 国道138号 富士吉田市新屋(北口本宮浅間神社前)4車線化の整備促進
- 国道358号の整備推進
- 国道413号の整備推進 等

(東部地域方面)

- 国道 139 号 松姫トンネルの整備推進
- 国道 139 号 大月市内の整備推進
- 中央自動車道大月 IC から国道 139 号 (都留市) への連絡強化
- 県道都留道志線の整備推進
- 県道上野原丹波山線、四日市場上野原線の整備推進 等

4) リニア新駅と近隣各地とを結ぶ一般道路等の整備

リニア新駅と近隣地域との交通円滑化のためのアクセス強化を図ります。

また、リニアの緩衝帯を利用して車両の通行を可能とする取り組みについても、JR 東海や関係者と協議・検討を行っていきます。

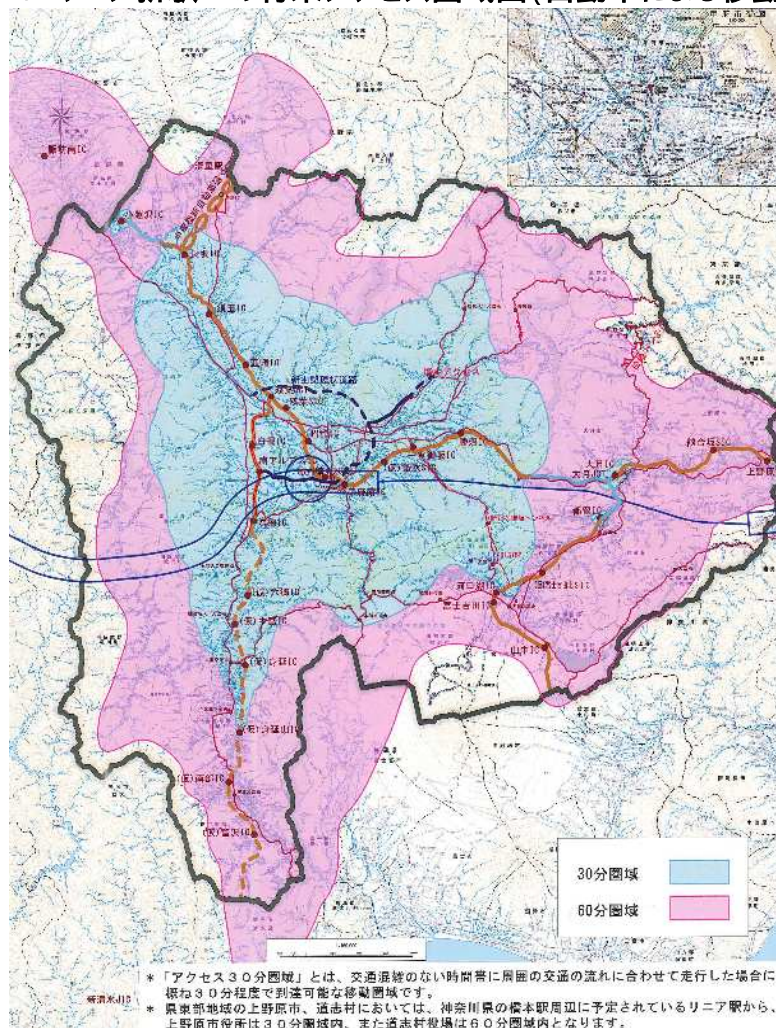
- 国道 358 号 (平和通り) の交差点改良 (再掲)
- 都市計画道路 田富町敷島線 (未整備区間) の整備推進 等

5) リニア新駅周辺地域の交通混雑緩和のための道路整備

リニア新駅が持つ交通結節機能²³⁾を十分に発揮するため、周辺地域の道路を整備し、新たな交通集中に伴う混雑の緩和を図ります。

- 新山梨環状道路～リニア新駅～国道 358 号 (平和通り) の整備
- 新駅周辺の甲府市道、中央市道の整備促進 等

図5 - 3 リニア新駅への将来アクセス圏域図(自動車による移動時間)



出典：「平成 22 年度道路交通センサス」をもとに山梨県リニア交通局作成

リニア新駅開業を見据えたバスネットワークの再編

モータリゼーションの進展などにより、バス利用者は年々減少傾向にあり、バス路線の維持が困難になってきている一方で、人口減少・超高齢社会の到来や環境にやさしいまちづくりの観点から、バス交通の充実を求める声が高まっています。

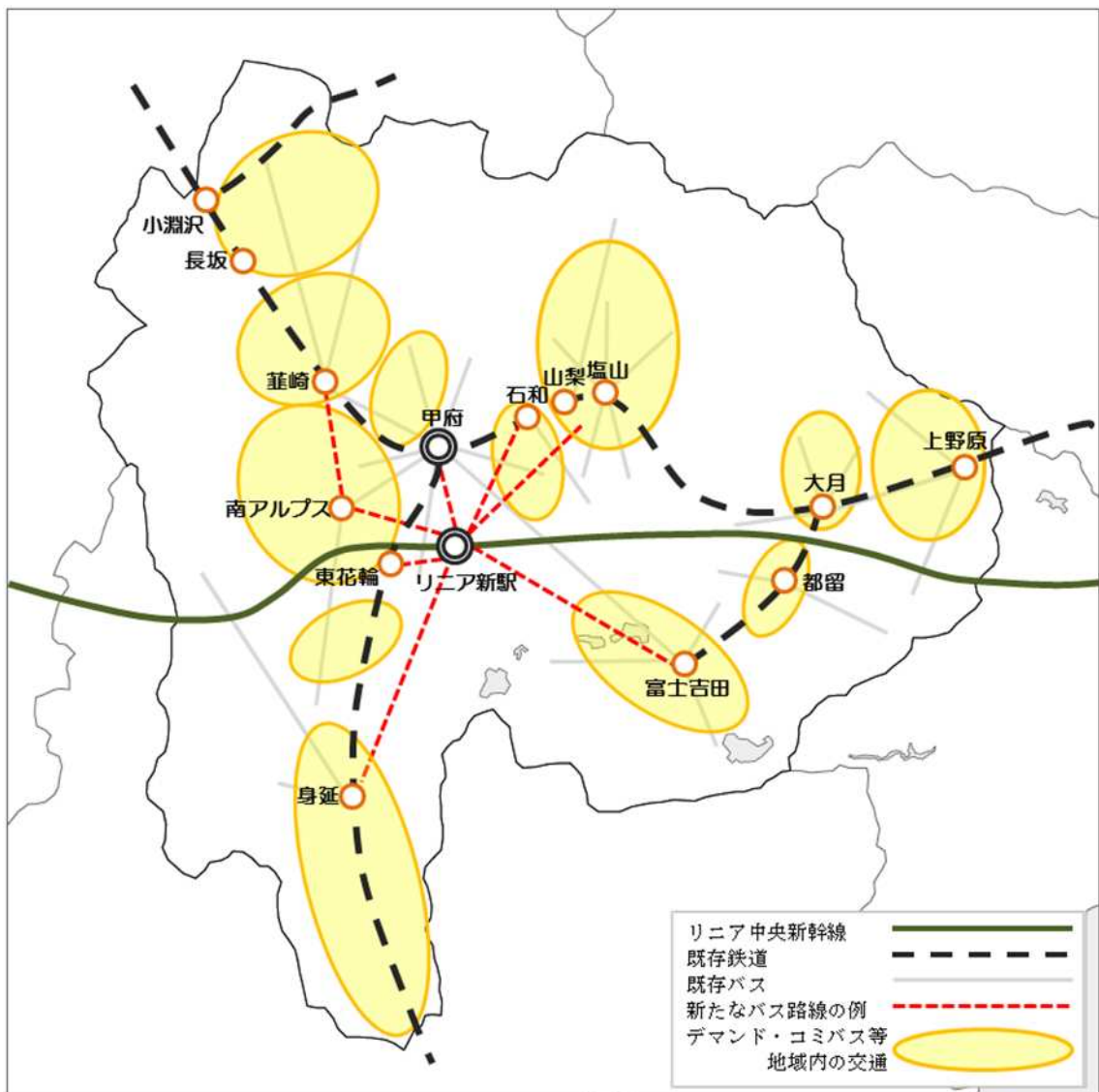
また、観光立県を目指す本県においては、観光地をめぐる交通手段となる二次交通バスの充実も期待されています。

こうした中、リニア中央新幹線が開業すると、リニア新駅は本県の主要な交通結節点として重要な役割を担うこととなります。

マイカーとともに公共交通でも利用しやすい新駅とするため、県内のバスネットワークの再編整備をおこなっていく必要があります。

今後は、リニアの開業を見据え、甲府駅とリニア新駅間を結ぶ BRT などの整備とともに、関係機関や市町村、バス事業者などと協議を行う中で、中央本線・身延線の主要な駅、鉄道のない地域へのバス運行などにより、県内各方面へのアクセスの確保を図っていきます。

図5 - 4 バスネットワーク再編のイメージ



出典：山梨県リニア交通局作成